

同時記者発表 高松経済記者クラブ
徳島県政記者クラブ
愛媛番町記者クラブ
高知県政記者クラブ

平成29年1月6日
四国地方整備局

記者発表資料

南海トラフ地震を想定した広域海上輸送のための 航路啓開机上訓練を実施します。

～関係機関の連携によるロールプレイング型の訓練を高松・松山で同時実施～

平成29年1月12日、四国地方整備局は、大規模地震・津波災害時に複数の港湾・航路が広域的に被災した状況を想定し、被災直後から航路啓開完了までの対応について、海上保安庁、港湾関係団体等と協力して迅速かつ円滑に行うことができるよう、DIG訓練というロールプレイング型の討議方式の訓練を行います。

今回の訓練では、本州・九州からの緊急物資を四国の被災地に輸送する際に、高松港・松山港両港が海上からの受け入れ拠点として円滑に機能するための航路啓開実施方針を確認することとしています。

大規模災害発生時の航路啓開に関しては、「南海トラフ地震に対応した四国の広域的な海上輸送の継続計画」（平成26年3月31日公表）に基づき行動することとしており、訓練を通じて、さらなる課題の抽出及び計画の実効性の向上を図ってまいります。

◆日時：平成29年1月12日（木）13：30～17：00（予定）

◆場所：本会場 サンポート高松合同庁舎13階災害対策室
分会場 松山港湾・空港整備事務所1階会議室
※本訓練は、本会場・分会場の2会場で実施します。

◆訓練形式：DIG訓練（Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム))

※DIG訓練とは、与えられた被害状況を参加プレイヤーで討議しながら、最善策を導きだしていくロールプレイング型の訓練です。

※記者の方につきましては、傍聴席を設けております。カメラの映像撮りや写真の撮影につきましては、場所を制限させていただきます。訓練における取材につきましては、訓練終了後受け付けいたします。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部

港湾空港防災・危機管理課長 西田 光昭

課長補佐 沖 孝文

電話 087-811-8333（直通）

◆オブザーバー参加機関

◆訓練参加機関

機関名	機関名
香川大学危機管理研究センター 白木教授	(一社)日本埋立浚渫協会四国支部
四国旅客船協会	四国港湾空港建設協会連合会
四国港運協会	(一社)日本潜水協会神戸支部
(一社)日本埋立浚渫協会四国支部	(一社)海洋調査協会
四国港湾空港建設協会連合会	全国浚渫業協会関西支部
(一社)日本潜水協会神戸支部	第五管区海上保安本部
(一社)海洋調査協会	第六管区海上保安本部
全国浚渫業協会関西支部	四国港運協会
(公社)瀬戸内海海上安全協会	内海水先区水先人会
徳島県県土整備部運輸政策課	愛媛県
香川県土木部港湾課	松山海上保安部
高知県土木部港湾・海岸課	四国地方整備局港湾空港部
坂出市建設経済部みなと課	四国地方整備局高松港湾・空港整備事務所
今治市農水港湾部	四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所
水産庁瀬戸内海漁業調整事務所指導課	
第五管区海上保安本部交通部	
第六管区海上保安本部交通部	
四国運輸局交通政策部	
四国運輸局海事振興部	
近畿地方整備局港湾空港防災・危機管理課	
四国地方整備局港湾空港部	
四国地方整備局高松港湾・空港整備事務所	
四国地方整備局小松島港湾・空港整備事務所	
四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所	
四国地方整備局高松港湾空港技術調査事務所	

四国地方整備局
港湾空港防災・危機管理課 宛

FAX:(087)851-8144

1月12日 四国における航路啓開机上訓練訓練
取材申込書

貴社名	
連絡先	TEL: FAX:
	氏名

1月11日（水）12時までに

FAX 送信をお願い致します